

「ターニングポイントを迎えた市街地再開発事業の状況整理と今後の可能性について」

「都市再開発法」が施行されて以来 55 年が経過し、概ね 1000 地区を超える事業実施が図られてきました。この間、『土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新』という面において、我が国の都市化の進展を支える柱の一つとしての機能を発揮してきました。しかし、人口減少と高齢化というターニングポイントを迎える中で、「首都圏と地方の格差拡大」「急激な工事費の高騰」といった問題に直面する中で、『公共の福祉に寄与すること』という制度目的の意味を再認識し、これまでの「都市機能の更新」という「ハード面での寄与」から、「持続的な機能維持と波及効果の創出」といった「ソフト面での寄与」への重心の移行が求められているように思われます。

また、様々な情報ソースにおいて「多様な再開発への視点」が提示されていることを踏まえ、再開発というフィールドから見た問題点や課題についての整理も必要だと考えられます。

今回の技術研究会では、この 55 年間の様々な課題に対して、その都度取り組まれた改善や工夫を改めて検証すると共に、地方都市における具体的な事例の中にある課題を整理する中で、再開発を既成ツールとして取り扱うだけでなく、パラダイムシフトに向けた新たなアプローチのきっかけとなり得るような視点の提示へと結びつくような場になれば幸いです。

◇ 内 容

1. 都市再開発事業が果たしてきた役割と社会的背景
2. 地方都市における市街地再開発事業の状況と課題整理
3. ターニングポイントを迎えた市街地再開発事業
4. パネルディスカッション

◇ 講 師

株式会社東急設計コンサルタント
株式会社ユードーコンサルタンツ

営業企画室・室長 西川 伸男 氏
代表取締役社長 土井 剛 氏

株式会社都市設計連合

取締役副社長 調査企画部門統括 内田 巧 氏
(一社)再開発コーディネーター協会 理事

◇ コーディネーター

株式会社都市設計連合

取締役 都市再生第二本部 本部長 細井 拓也 氏
(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員長

※ 参加される方は、各々マスクをご用意頂きますよう、お願い致します。

※ 受講当日は、受講票（後日送付）を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催の5日前までに入金確認が取れない場合、受講料は没収となります。

定

員

締切